

2024年10月29日  
昭和産業株式会社

**東北大学発のイオン交換樹脂を用いた新たな反応分離技術で  
資源循環型社会を目指すスタートアップ企業  
ファイトケミカルプロダクツ株式会社と資本業務提携  
～オープンイノベーションによる新規事業領域の研究・開発強化～**

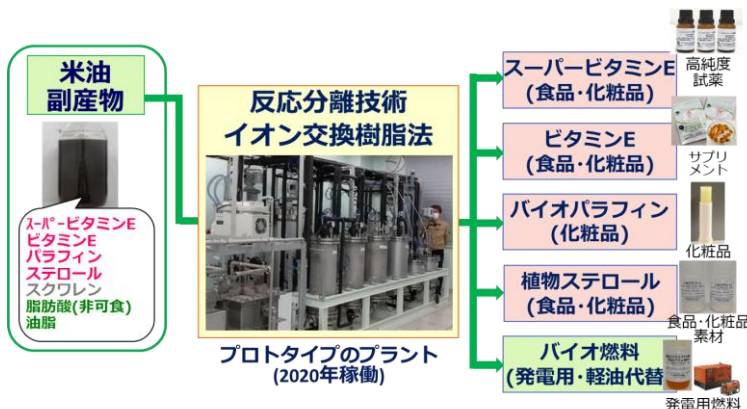
昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：塚越英行）は、東北大学発スタートアップ企業ファイトケミカルプロダクツ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役：加藤牧子）との間で、2024年9月30日に業務提携を締結し、本日10月29日に出資完了したことをお知らせします。

**本資本業務提携の背景・内容**

当社は、「中期経営計画 23-25」において基本コンセプト“SHIN-KA”を宣言し、穀物のプロ集団として穀物ソリューションを「進化」させ、素材の「真価」を追求しながら人々の健康に貢献し、環境負荷の低減に向けた取り組みなどを通じてサステナビリティ経営の「深化」に取り組んでいます。戦略の一環として、植物油の製造過程で発生する副産物を活用したアップサイクルの研究・開発を強化し、オレオケミカル・ファインケミカル事業領域への拡大を推進しています。

ファイトケミカルプロダクツ株式会社は、東北大学大学院工学研究科北川尚美教授・廣森浩祐助教が開発した、イオン交換樹脂を用いて高純度の有効成分を高効率かつ複数同時に生成できる反応分離技術を活用し、2020年から米油の製造過程で発生する副産物からスーパービタミンE、パラフィン、植物ステロール等の機能性素材を製造するプロトタイププラントを稼働させ、製造販売を行っています。また、反応分離技術のライセンス・エンジニアリング事業を展開し、バイオ燃料や化粧品原料などの各種エステル合成への利用拡大を進めています。

今回の資本業務提携により、当社グループから発生する副産物にファイトケミカルプロダクツ株式会社を持つ反応分離技術を掛け合わせ、穀物の新たな可能性を研究していきます。また、開発のスピードアップ、販売の強化など多角的な協力関係を構築し、ファイトケミカルプロダクツ株式会社が計画している2025年以降の新工場建設・稼働、量産化技術の確立を達成し、さらなる事業拡大を目指します。



イオン交換樹脂法を活用した  
米油副産物からの機能性素材製造

## ■ファイトケミカルプロダクツ株式会社 について



### Phytochem Products Inc.

ファイトケミカルプロダクツ株式会社は東北大学発のスタートアップ企業として循環型の未来社会の実現を目指しています。米ぬかなどの未利用のバイオマス資源を東北大学発の最先端の技術を用いて、燃料、食品、医薬品、化粧品、日用品などの様々な産業に展開します。

#### <会社概要>

創業	: 2018年6月
事業内容	: 植物由来の機能性素材の製造・販売 各種脂肪酸エステル <sup>1</sup> の製造・販売 上記の製造装置の設計・製作・販売
代表者氏名	: 代表取締役 加藤牧子
本社所在地	: 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-40
URL	: <a href="https://phytochem-products.co.jp/">https://phytochem-products.co.jp/</a>

## ■昭和産業株式会社 について

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

当社は1936年の創立以来、大地の恵みである小麦、大豆、菜種、トウモロコシなどの穀物を小麦粉、プレミックス、植物油、糖化製品などに加工し、多くのお客さまにお届けしてきました。「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」というグループ経営理念のもと、多種多量の穀物を取り扱う当社独自のビジネスモデルにより、「穀物ソリューション・カンパニー」として食の安全・安心、安定供給に努めています。食品メーカーとして穀物の取扱量は日本一（自社調べ）。穀物の素材一粒の持つ力や可能性を徹底的に研究し続ける「穀物のプロ集団」として、今後ますます高まる「食」への期待にお応えしてまいります。

#### <会社概要>

創業	: 1936年2月
事業内容	: 小麦粉、植物油、糖化製品、二次加工食品などの製造販売、 配合飼料の販売、倉庫業、不動産の賃貸
代表者氏名	: 代表取締役社長執行役員 塚越 英行
本社所在地	: 東京都千代田区内神田 2-2-1
URL	: <a href="https://www.showa-sangyo.co.jp/">https://www.showa-sangyo.co.jp/</a>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室

TEL : 03-3257-2042 担当 : 赤松・関口